

「サルコペニアと膵頭十二指腸切除後の胃内容排泄遅延の関連について」に関する研究

1. 研究の対象

2011年4月～2017年12月までの期間に当院で膵頭十二指腸切除術を受けられた方

2. 研究目的・方法

膵頭十二指腸切除後に生じる合併症の1つであります胃内容排泄遅延は13.1%～61%の割合で生じると報告されています。また、筋肉量の低下でありますサルコペニアは膵頭十二指腸切除後の膵液漏をはじめとする合併症の危険因子であると報告されています。しかし、サルコペニアと膵頭十二指腸切除後の胃内容排泄遅延の関連性の報告はほとんどありません。今回私たちは手術前のサルコペニアが膵頭十二指腸切除後の胃内容排泄遅延と関連があるか否かを検討することとしました。

なお、この研究は倫理委員会承認日から実施される予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

日常診療において既に検査が行われている患者さま情報（病歴、血液検査、CT画像検査、手術内容、手術標本の病理診断、手術後の合併症の有無など）を用いて研究を行います。

4. 外部への試料・情報提供

本研究では、外部への試料・情報提供はありません。

5. 研究組織

JA 広島総合病院 外科

佐々木 秀（研究代表者）

6. お問い合わせ

本研究に関するご意見等ありましたら下記の連絡先までお問合せください。

ご希望があれば、ほかの研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さまにご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究分担者：新宅谷 隆太

（JA 広島総合病院 外科 部長）

研究責任者：佐々木 秀